

<巡回特許庁 in 山形 併催イベント「知財広め隊セミナー」>
あなたの会社やお店に眠る知財の見つけ方
実施報告書

報告者 上野大輔

1. 開催日：令和元年9月3日（火）
2. 会 場：山形テルサ（山形市）
3. 主 催：日本弁理士会
4. 参加人数：16名（申込28名）

5. プログラム：

第1部 セミナー

「あなたの会社やお店に眠る知的財産の見つけ方」

講師：弁理士 黒沼 吉行 氏

第2部 ワークショップ

「弁理士と一緒に知財の見つけ方をケーススタディに沿って考えてみましょう」

6. 内 容：

前半30分は知的財産制度の概要や弁理士の役割等を説明する講演、後半30分は5つのグループ（弁理士1～2名に対し参加者2～4名）で、事例に基づくディスカッションを行った。

講演については、参加者はみな熱心に聞かれていた。

またディスカッションについて、事例は、山形の名所である蔵王山のお釜を擬した、木製でコーティングを施したおちょこを開発し「酒蔵王」とのネーミングを付して売り出すことを考えた、とのもので、ブランド、デザイン、技術にわたるものである。

実際に参加者からは、限られた時間にもかかわらず、当該事例をもとにした検討に留まらず、参加者の経験した実例等から議論が展開し、とても盛り上がった。

7. 内部用報告

・参加者のグループ分けについて、属性（企業、行政、金融機関等）で振り分けることを検討したが、申込者のほとんどが企業だったため結局は行わなかった。結果的には、前のコマから引き続きの参加者が多く、席の移動をすると煩雑なため、自由席としてよかったと思う。

・講演とグループワークの時間配分について、30分で知財制度全体の概要を話すことは困難だと感じた。今後、グループワークのみにすること、あるいは、先にグループワークを行い（40～45分程度）、その後に解説の形で簡単な制度説明を行う方法にすることを検討したい。



セミナーの様子



グループワークの様子

以上